



学校便り 琢磨

令和5年度 第28号 R6.3.4 三豊市立詫間小学校

保護者アンケート（4段階評価より）

大変お忙しい中、保護者アンケートにご協力くださりましてありがとうございました。今回の学校便りは、アンケート結果についてご報告させていただきます。

保護者アンケート（集計結果）令和5年度後期				
番号	評価項目	R4 後期	R5 前期	R5 後期
①	楽しい学校	96.3%	96.0%	96.6%
②	あいさつ	91.9%	92.8%	94.1%
③	なかよしの友	96.6%	96.2%	98.1%
④	家庭読書	61.6%	59.1%	50.1%
⑤	交通マナー	96.3%	94.5%	93.2%
⑥	安全意識	92.1%	90.2%	87.6%
⑦	基本的な生活習慣	88.4%	91.2%	90.6%
⑧	豊かな心	97.9%	95.6%	95.8%
⑨	分かりやすい授業	89.1%	87.7%	91.1%
⑩	専科・T.T指導	97.3%	97.5%	98.2%
⑪	理解ある先生	98.3%	93.6%	98.2%
⑫	相談的な先生	98.1%	95.2%	97.8%
⑬	給食の味	93.2%	95.1%	97.2%
⑭	便りの講読	89.5%	87.5%	87.5%
⑮	学校参観の機会	93.9%	97.5%	98.2%
⑯	学校の話題	97.3%	97.6%	97.4%
⑰	情報発信	97.8%	94.6%	98.0%
⑱	安全安心な環境	99.1%	97.7%	98.1%
⑲	HP閲覧	69.9%	68.8%	71.5%
			前期比向上→	
			前期比低下→	

左の表は、各項目について4段階で評価いただき、肯定的な評価の割合をパーセントで表したものです。

全19項目中、15項目につきまして、肯定的な評価の割合が90%を超えており、前期と比べて向上した項目が13項目、低下した項目が、5項目という結果になりました。

「分かりやすい授業」、「理解ある先生」、「情報発信」の項目について大きく向上しております。電子黒板やタブレットの活用もその要因だと判断しますし、何より教員が教材や活動を工夫したり、一人一人に応じた言葉かけや支援を続けたりしたことに対して評価いただけたのではないかと考えます。また、ホームページ等で、学校の様子を発信し続けたことも評価いただけたのではないかと思います。

一方、低下し続けている「家庭読書」につきましては、学校では「読み聞かせ（ボランティア・教員・委員会の児童）」を拡充したり、「読書めあて達成者のカードで掲示物を作成」したり、「23が60読書運動の感想紹介」をしたりと、例年以上に取組を強化しました。学校では、かなり読書をしている姿は見かけるようになりました。それを家庭生活にも広げていくためには、今後はタブレット

での読書ができるようにするなど、抜本的な取組の改革が必要ではないかと考えております。

保護者アンケート（自由記述より）

自由記述欄に記載いただいた内容についてご紹介します。学校としての回答を加えているものもあります。なお、個人的な内容や特定のクラスに関する内容等につきましては、ここには掲載しておりません。また、類似した内容については、まとめて掲載させていただきました。

- 修学旅行や校外学習等の様子をリアルタイムでブログ発信してくれるのでありがたい。
- ホームページがよく更新され、学校の様子がよく分かる。
- 要望していた「校長の独り言のアーカイブ化」をしてくれたので感謝している。
- 給食がとてもおいしいと言っている。ブログでは、カラー写真でメニューを紹介してくれるので、家族の話題になりやすい。
- 調理実習ができるようになってよかった。自分たちで育てた野菜を調理する取組もよかった。

- 校長先生が、DIY等で環境整備を徹底しているので、安心して学校に行かせることができる。
- 昼休みの芸能・自慢大会など、先生と子どもが楽しく学校生活を送っていることが感じられ、チャレンジする心を育て、特技を伸ばすきっかけにもなって、何より学校生活に楽しさがあった。
- 校長テストは、学力を伸ばす面や、やる気を高める面でもよい。3年生以上もしてほしい。→3年生以上は、学習内容も高度で多岐に渡るため、子どもに負担感を与える可能性がある、どうしてもペーパーテストとなってしまう（テストが増える）等の理由で、これまで実施はしていません。
- 高学年の子どもたちが、年長者として行動している場面をよく見かける。よいお手本になっている。
- 1年生と幼稚園・保育所の子どもたちとの交流が充実し、3年生の民俗資料館学習もできてよかった。
- 学校便りの「校長の独り言」より子どもたちの活動の様子を掲載してほしい。→学校便りは、校長が発行する保護者の皆様（子どもたち）に向けたお便りです。校長としてのものの見方や考え方、大切にしたいこと等を「随筆風」にお伝えしているつもりです。ただ、子どもの活動の方が見たいというご意見は、毎回いただいておりますので、ホームページで、できるだけ紹介するようにしています。
- 詫間町は農家が少ないので、食育活動がもう少しあればよい。→栄養教諭による毎日の給食放送、パントリーでの展示、給食ブログの校長のコメント等も、日々の食育活動であると考えております。食育の授業についても計画的に行っております。さらに、効果的な食育活動を続けていきたいと思っております。
- 運動会、学習発表会など、小学生らしい元気が少し足りない気がした。間違ってもいいので子どもたちの生き生きした姿を見たい。→数年間、コロナ禍で発表の機会が少なかったことも影響していると思います。今後は、大きな場での発表の機会も増えてくると思いますので、しっかりと表現できるよう支えていきたいと考えております。
- 靴をふんで歩いている子ども、髪を染めている子どもを見かける。学校に行くのにはふさわしくないと思う。→靴をふんで歩いていることについては、学校で指導いたします。髪の毛の色につきましては、学校のきまりには明記していません。小学校段階では、保護者の責任においてお子様の髪を決めているという学校がほとんどだと思います。このようなご意見があることは、この紙面を通じて、全ての保護者の皆様にお伝えしています。
- プロによる芸術や音楽に触れさせる機会が増えたらよい。→これまでコロナ禍であまり実施できませんでしたが、今年度は、「チェロリサイタル」を全校児童対象に行いました。また、「6年生の観劇」、「5年生のナガレスタジオ学習」等、本物に触れる機会を設定しております。行事増での子どもたちへの負担や保護者の皆様への金銭的な負担等も考慮しながら検討してまいります。
- 登校時刻が早い。遠くから歩いてくる子、スクールバスの子もいる。→8:00 始業の学校がほとんどだと思います。本校は、始業前の放送を7:50にしていますが、今後、その放送を遅らせること、始業時刻自体を遅らせること（数分程度）も検討しています。見通しが立ちましたら早めにお知らせします。
- 給食場の横の門を通して、カイズカイズキの木の間を抜け、芝生広場に出ている子どもを見かける。そこは通ってはいけないと以前は指導されていた。今は、通ってよいのか。→児童だけの通行は、禁止していることに変わりありません。以前は、武道館横から調理場に入る門（西門）は、給食物資搬入及び調理員に限って出入り可の門でした。児童はもちろんですが、教職員、保護者も、市駐車場から正門の方へ回って出入りしていました。いつの間にか、市駐車場からの近道ということで通行している人が多くなり、それをこれまでは黙認していた状況でした。

しかし、最近、車と児童が接触しかかった事案もあり、今後、給食物資を搬入する車との事故が無いとも限りません。本来、この通路は、給食物資の搬入用ですので、事故を回避する義務が学校にはあると判断しました。そこで、来年度の4月1日から、西門は、毎日、夕方から朝まで施錠することとします。鍵がかかっていない時間帯も、門の使用は給食関係者に限ることとさせていただきます。保護者の皆様には、大変ご不便をおかけしますが、一旦歩道に出いただき、正門を通過の出入りをお願いします。4月1日までは、移行期間ということで施錠はいたしませんので、保護者の皆様または、保護者同伴でのお子様の通行については個人の判断にお任せします。児童だけの通行は、これまでも禁止していますし、本校の教職員につきましては、3月1日より通行しないようにしております。ご理解ご協力をよろしくお願いたします。

P T Aに関するご意見（行事・活動内容等）、キッズに関するご意見は、P T A、キッズにお伝えします。